

事案名	名古屋市の事案（愛知県23-3）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「昭和48年の『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）」平成15年8月29日〔1〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔2〕
資料内容概要	<p>愛知県名古屋市では、昭和45年から昭和56年にかけて、毒ガスアンブル等が発見され処理した事案が存在している。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市内の旧軍兵器廠跡の建設現場において毒ガスアンブル67本（イペリット、ルイサイト、臭化ベンジル、塩化アセトフェノン、ホスゲン）が発見され、昭和45年8月1日に自衛隊が処理を実施した〔1〕。 ・名古屋市内の消防団の機材庫において液体ガラス管×6が発見され、昭和56年9月8日に市の消防が処理する際、自衛隊が技術指導したと記載されている〔2〕。